

2016 アジア選手権報告書

参加団体名：トヨタ紡織ボート部

氏名：塚本 章良

種目：男子軽量級シングルスカル

1. レースの展開、結果、反省点

・予選の展開

スタートで中国に一艇身ほど出られる。2位以下にウズベキスタン、イラク、日本が並ぶ。1000mまではほぼ並びは変わらず。1000m通過後イラクに出られる。対応できずに艇差をつけられる。1500m通過後イラクの気配が感じられなくなる。中国との艇差はほぼ変わらなかったため、スパートをしかける。しかし、艇差が縮まらずそのままゴール。

・予選の結果

3位。

・予選の反省点

相手のことばかりを考えてしまった。レース、自分に集中できていなかった。

・敗者復活の展開

スタートでトップに出る。500m、1000mまで一艇身ほど出る。1000m通過後イランに少し艇差を縮められるが見える位置の艇差を保つ。1500m通過後イランがスピード上げるが見ながらゴール。

・敗者復活の結果

1位。

・敗者復活の反省点

1500m通過までにもっと艇差をつけておきたかった。

・決勝の展開

スタートで香港に出る。500m、1000mまで香港に一艇身弱出る。1000m通過後香港に抜かれる。対応できず艇差をつけられる。1500m通過後スパートをかけるが香港の気配すら感じる事ができずゴール。

・決勝の結果

5位。

・決勝の反省点

1000m通過後、上位選手のスピードに全くついていくことができなかった。

2. 国際大会を経験して良かったこと、困ったこと、今後のボート人生にどのように影響するか。

・良かったこと

アジア各国の選手との力の差を感じることができた。

・困ったこと

レース時間がはっきりしない。レース前体重計量時に計測員が二時間前になっても来なかった。レース直

後に審判艇に伝えたいことがあったが伝えられなかったし、対応してくれなかった。

・今後のボート人生にどのように影響するか

実力の無さと大会への考えの甘さを痛感した。自分がどのレベルで戦いたいかわかると勝たいたいかわかると、それによってボートへと取り組みを変えなければならない。意識を変えなければならない。